

# ひとりの人として生きる

## ～目指す共生社会って、どんな社会？～

2020年の東京パラリンピック開催を見据え、障害者理解・合理的配慮が全国的に浸透し、共生社会がもう実現しつつあるかのように思われます。

でも本当に共生社会は確実に実現できているのでしょうか？

障害者が1人の「人」として存在できている・社会参加していると実感できる社会になっているのでしょうか？

研修を通して、真の合理的配慮・共生社会とは何か、何が必要か…改めて皆さんと考えます。

2019.12.18 水

開始時間／13:30～15:00

開催場所／アゼリアホール（倉吉病院内）  
鳥取県倉吉市山根4 3 番地

参加費：無料 定員：100名

当事者、家族、福祉・教育・保育関係者、相談員、自立支援協議会委員など どなたでもご参加いただけます。



講師

岡山短期大学  
准教授 山口雪子

やまぐちゆきこ

### Profile 山口雪子さん

就学前検診で、先天性の目の疾患が判明。40歳代半ばから視力低下し、中途失明者となる。

日本大学農獣医学部を卒業後、臨床検査試薬メーカーに勤務。退職し、岡山大学大学自然科学研究科博士課程を修了後、現在の岡山短期大学幼児教育学科に勤務。

幼少期における環境教育の研究と、保育士・幼稚園教諭を目指す学生の育成に携わり、地域でも子どもたちに自然の素晴らしさを伝える活動を積極的に続けておられます。

別紙「参加申込書」にご記入の上、FAXまたはお電話でお申し込みください。

中部障がい者地域生活支援センター（中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局）

TEL 0858-26-2346 / FAX 0858-26-2300

